

令和元年度 第2回健全育成委員会 議事録

日 時 令和元年12月14日(土) 13:30～14:20
場 所 ホテルニューオータニイン札幌 3階 ステラ
出席者 7名/8名

※担当役員 新井田寛会長、永淵優副会長
※事務局 小田島美香事務局員

欠席者 1名(宮澤一理事)

□委員長挨拶 平竜次委員長

□全国高P連第2回健全育成委員会の報告(新井田寛会長)

台風のため中止となった旨報告があった。

□議 事

1 第1回委員会(7月27日)以降の健全育成委員会関係の活動

(1) 令和元年度「高校生と語るつどい」の実施

- ・ 空知支部 参加者 PTA9名 教職員6名 生徒21名 合計36名
テーマ「どうなる?私たちの未来～幸せな生き方ってなんだろう?～」
- ・ 根室支部 参加者 PTA15名 教職員20名 生徒43名 合計78名
テーマ「そのときあなたは何かができますか」
- ・ 釧路支部 参加者 PTA14名 教職員18名 生徒52名 合計84名
テーマ「社会で生きる力を身につけるために」
- ・ 道南支部 参加者 PTA23名 教職員5名 生徒18名 合計46名
テーマ「高校生のホンネ、大人のホンネ」
- ・ 石狩支部 参加者 PTA28名 教職員4名 生徒29名 合計61名
テーマ「ローン・クレジットを上手に利用するために」
- ・ 十勝支部 参加者 PTA12名 教職員11名 生徒32名 合計55名
テーマ「2040年を考える」
- ・ 従来型で実施した釧路支部を除き、他6支部はワールドカフェ方式で実施した。北見支部は委員会開催当日実施される。十勝支部では塚本校長協会十勝支部長がファシリテーターを務めた。

(2) 「高校生ICT Conference 2019」の後援

テーマは両会場共通 「人ななぜSNSを使うのか」

- ・ 札幌会場 9月28日(土) 札幌ユビキタス協創広場 生徒参加6校31名
全国サミット代表生徒所属校 石狩翔陽高等学校
- ・ 帯広会場 9月23日(月) とかちプラザ 生徒参加6校23名
全国サミット代表生徒所属校 帯広柏葉高等学校
- ・ 両会場とも新井田会長が開会式で挨拶を行った。

(3) ILASテストへの協力

- ・ ILASテスト(高校生のインターネットの健全な利用に関する調査)の実施協力
協力校 砂川高校、網走桂陽高校、伊達高校

2 単Pの実践の研究

- ・ 北見柏陽高校 「一筆啓上」(卒業時の親子のメッセージの交流)
生徒が高校生活を振り返り、その成果と親への感謝の気持ちが表れており、親からは卒業を祝し今後へのエールが伝わる優れた実践である。同様のねらいの北見緑陵高校の実践も紹介された。
- ・ 岩内高校 「3年生思春期教室」(PTAや地域の人々と生徒の語り合い)
生徒と保護者や地域の方々との職業生活を中心とした交流であり、生徒が仕事について考えたり、自分の住む地域を見つめ直すことにつながる優れた実践であり、1年生から続く「思春期教室」の一環としての位置づけもある。

3 今後の健全育成委員会の活動に関する意見交流

今後も単Pの優れた実践を収集し、広く紹介していく。

□閉 会

令和 年 月 日

議 長(委員長) _____ 印